

2021年1月20日

株式会社山陰合同銀行

「ごうぎん事業承継投資事業有限責任組合」の設立について

山陰合同銀行（頭取 山崎 徹）とごうぎんキャピタル株式会社（社長 佐藤 幸雄）は、
当行グループでは初めての取り組みとして、事業承継ニーズを有する中堅・中小企業の株式
を取得し経営支援を行う、「ごうぎん事業承継投資事業有限責任組合」（以下、本ファンド）
を設立しましたので以下の通りお知らせします。

1. 設立趣旨

全国的に中堅・中小企業経営者の高齢化が進み、特に山陰両県の後継者不在率は鳥取
県が77.9%で全国2位、島根県が73.5%で同4位と高水準に位置し、喫緊の課題となっ
ています。（出所：帝国データバンク、全国企業「後継者不在率」動向調査2020年）

当行では、お取引先の顧問税理士、税理士法人等の外部提携先と連携し、事業承継に
おける課題解決に取り組んできました。近年、従来の親族内での事業承継に加え、自社
の経営陣、従業員もしくは第三者に経営を引き継ぐ、親族外への事業承継ニーズも増加
しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により社会構造が急変するなか、当行は本ファンド
を通じ、事業承継に課題を持つお取引先に対して、グループ一体で付加価値の高いソリ
ューションを提供することで、地域経済の活性化に貢献してまいります。

2. ファンド概要

名 称	ごうぎん事業承継投資有限責任組合
運 営 会 社	ごうぎんキャピタル
組 合 出 資 者	山陰合同銀行（29.7億円）、ごうぎんキャピタル（0.3億円）
ファンド総額	30億円
設 立 日	2021年1月18日
存 続 期 間	約8年間

3. 事業承継・M&Aの支援体制

事業承継は、従来の税理士法人等に加え、包括的業務提携を行っている野村證券株式
会社のノウハウと本ファンドを有効活用してお取引先の課題解決に取り組みます。

M&Aにおいては、株式会社日本M&Aセンターとの業務提携を最大限活用して山陰
両県のさらなる活性化と両県外の活動を積極展開してまいります。

【ご参考 <https://www.gogin.co.jp/newsrelease/common/attachmentfile/attachmentfile-file-1840.pdf>】

以 上